



まだ申し込めます！専門研修講座(5月15日締め切り分)

I期開催講座(7/7まで実施分)の中から、授業がある講座、定員にまだ余裕がある講座等をピックアップしました。また、これ以外にもたくさんの講座をご用意していますので、皆さんの申し込みをお待ちしています！

研修講座名	期日	対象※	内 容
小学校国語科 I 講座 授業	6/19(金)	小	3年生の「話すこと・聞くこと」の授業づくりの基礎・基本について、聞くことを重点的に学ぶことができる講座です。
小学校社会科 I 講座 授業	6/25(木)	小	6年生の歴史学習で、歴史を学ぶ価値を実感させる授業づくり、単元づくりのポイントが学ぶことができます。
小学校生活科講座 授業	6/11(木)	小	ゴムを使ったおもちゃ作りを通して、コンパクトながら気付きの質を高める指導・支援の仕方を学ぶことができます。
小学校図画工作科 I 講座 授業	6/11(木)	小	親しみのある作品を鑑賞する学習です。児童の感性を大切にしたい言語活動を中心に授業を進めていきます。
小学校外国語活動講座 授業	6/30(火)	小	「Hi, friends! 1」 Lesson 5 の授業を通して、「基礎から学ぶ授業づくり」について提案します。
中学校数学科 I 講座	7/3(金)	中	数学的に考える力を高める授業における課題提示、発問、教材の工夫について学ぶことができます。
スーパーティーチャーに学ぶ講座 (常勤講師以外の方も受講可)	※	小 中 高	学習経営の両輪である授業づくりと学級づくりのポイントを学ぶことができます。
高校家庭科 I 講座	6/30(火)	高	I C Tを活用した授業の実践発表と協議を行います。午後からは、実際に教材を作成する時間があります。
学習状況調査の分析・活用 講座 (詳しくは2ページへ)	6/4(木) 午後	小 中	「分析システム」から出力されるデータの見方や学力向上に向けた校内研修での活用方法について学ぶことができます。
「Q-U」を活用した授業 づくり講座(応用編)	6/23(火)	小 中 高	粕谷先生の講義・演習と実践発表を通して「Q-U」を活用した学級づくりや事例検討の方法を、じっくり学ぶことができます。
心理検査WISC-Ⅲ講座 (実施編)	6/5(金)	小 中 高 特	WISC-Ⅲは、児童生徒の得意なところや苦手なところを把握して個に応じた適切な支援を見付けることができます。
PowerPoint 応用講座	6/26(金)	小 中 高 特	教材例の作成を通して、教材作成に有効な操作技術を習得できます。



※「スーパーティーチャーに学ぶ講座」の詳細はWebにてご確認ください。

場所はスーパーティーチャーの在籍する各学校での開催になります。

※対象／小→小学校、中→中学校、高→高等学校、特→特別支援学校

※「専門研修」に関しては…<http://www.saga-ed.jp/tanken/kouzaannai/02senmonken/02senmonken.html>

短期研修担当直通：(0952) 62-5212
※管理職を通じてご連絡ください。

佐賀県小・中学校学習状況調査 調査結果の公開と活用

データの公開と今後のスケジュール

平成 26 年度に、システムの大幅なリニューアルを行いました。これまで行っていた分析ツールを用いての作業を簡略化したことで、学校ごとのデータや学級別、教科別のデータをスムーズに提供できるようになりました。ぜひ、各学校の学習状況を把握し、PDCAサイクルを機能させるためにご活用ください。

SEI-Net
Saga Education Information Network

統計管理

メール 文書管理

旅費事務

諸調査集計・分析

分析システム

ログインユーザー一覧

データの受け取りは
SEI-Net の「諸調査統計・分析」メニューから

小学校メニュー

児童生徒名簿取込処理

教科に関する調査、児童

入力チェックリスト及び

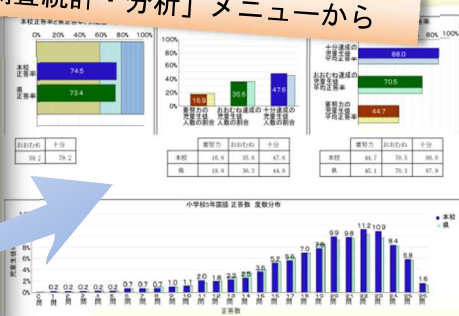
資料ダウンロード

教師意識調査の入力

提出処理

分析システム

ログインユーザー一覧



本校と県の調査結果等が出力されます

◆ 学校や学年、学級の状況の分析

授業や校内研究、指導計画の立案等での活用を！

◆ 児童生徒意識調査の結果

生徒指導、学級指導等での活用を！

4月	〔4月調査〕の実施(4/21) 終了
5月	
6月	☆分析データの公開(上旬) 「学習状況調査の分析・活用講座」(6/4)
7月	☆3年間の推移データの公開予定 ※詳細については、後日発行の「ミネルバ」でもお知らせする予定です。
8月	
9月	
12月	〔12月調査〕の実施(12/8～9)

5/13
学習シートの返却
6/15
学校支援の実施
7/31
9/9

◆ 児童生徒一人一人の学習状況シート

個別指導、家庭との連携等での活用を！

◆ 各学校の学力向上の取り組みを支援します。



学校支援の様子

講座で納得！ ～調査結果の分析とその活用方法～

学習状況調査の分析・活用講座 6月4日(木) 午後開催

本講座は、「分析システム」から出力されるデータの見方や分析の仕方、分析結果を活用した校内研修会のもち方などについての提案を通して、各学校における調査結果の分析・活用が主体的、効果的に進められることをねらいとしています。学力向上対策コーディネーター、研究主任、情報教育担当など、各学校における分析・活用の中心となる先生方の積極的な参加を期待しています。学校支援を希望されている学校におかれましても、あらかじめ、関係の先生方が本講座を受講されていることで、円滑な校内研修ができると思います。ぜひ、受講をご検討ください。

※実施要項はこちら：http://www.saga-ed.jp/tanken/kouzaannai/02senmonken/h27kyouka_ryouiki_pdf/3651.pdf



講座の様子

「学習状況調査」に関することは・・・研究調査担当へ 0952-62-5214 (直通)

「授業に役立つ実践研究」をご活用ください！

教育センターでは取り組んでいる研究成果をWebで公開しています。授業や学級経営、校内研修等に役立つコンテンツを数多く掲載しています。

今年度は「プロジェクト研究」「個別実践研究」「特命研究」に取り組み、その成果についても随時Webにて公開する予定です。ぜひご活用ください。

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/index.htm

平成26年度の研究成果を紹介します！

プロジェクト研究

学校現場の先生方とセンター所員がプロジェクトチームを組んで取り組む研究です。

小・中学校社会科教育研究委員会

平成25・26年度の2年間の研究成果を掲載しています。社会科における思考力・判断力・表現力の育成を目指して、「意思決定を取り入れた討論型の学習」を取り入れた授業を提案し、小学校8本、中学校8本の実践事例を紹介しています。また、「取り上げるべき社会的な問題の整理の仕方」「問題を明解にする手立て」等についても紹介しています。

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h26/01_syakai/toppage.htm

小・中学校校内研究の在り方研究委員会

平成25・26年度の2年間の研究成果を掲載しています。校内研究の取り組みの中にPDCAサイクルの考え方を取り入れ、P・D・C・Aの各段階での手立てや研究会でのワークショップ型の活用例などを紹介しています。また、実践校4校において取り組んだワークショップ型研究会の進め方の具体について紹介しています。

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h26/02_kounaiken/sample.htm

小・中・高等学校教育相談研究委員会

平成26年度(1年次)の研究成果を掲載しています。県内の学校における児童生徒のトラブルの実態を明らかにして、児童生徒が自分たちでトラブルを解決しようとするピア・メディエーションに関する活動プログラムを提案しています。また、校種別に2時間分の授業展開案やワークシート等の資料も紹介しています。

今年度は授業実践を更に進め、研究を深めていきます。

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h26/03_soudan/index3.htm

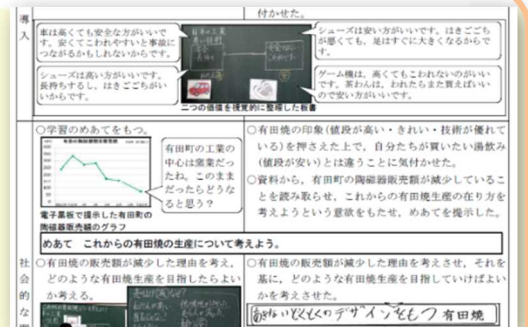
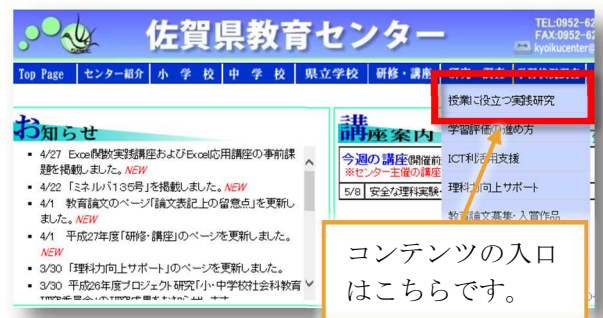
特命研究

喫緊の教育課題について、テーマを設定して行う研究です。

特別支援教育研究委員会

「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業実践を通して、小・中学校の通常学級及び高等学校におけるすべての児童生徒が学びやすい授業づくりの在り方について提案しています。具体的には、「環境の工夫」「組立ての工夫」「説明の工夫」「個人差への配慮」の視点を取り入れた支援例と有効な支援の取り入れ方について紹介しています。

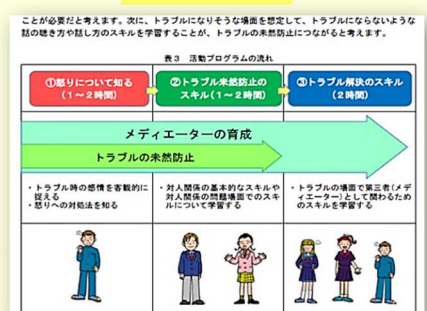
http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h26/04_tokubetusien/index.htm



実践事例における本時の展開の様子

活動	分	活動の具体
1 開会	5	・説明資料を用いて、授業研究会の進捗について確認した。
2 授業研究会の進行確認	5	・説明資料を用いて、授業研究会の進捗について確認した。
3 授業者の自己紹介	5	・グループ協議を始める前に研習者について確認した。
4 マトリックスによるグループ協議	20	・グループ協議を始める前に研習者について確認した。

研究会の様子



活動プログラムの考え方

小・中学校の通常学級及び高等学校におけるすべての児童生徒が学びやすい授業づくりの在り方
—「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業実践を通して—



トップページ